

なりわい。くらし。まなび。をクリエイティブの力でつなぐ



おおたクリエイティブ
タウンセンター

Annual report 2023

ご挨拶

(一社) おおたクリエイティブタウンセンターが誕生してから間もなく丸7年が経過しようとしています。前身の任意団体も含めると、おおたオープンファクトリー(2012～)の実施、くりらぼ多摩川の運営(2013～)などをはじめとして、10年を超えたまちづくりの成果がある一方で、新たに次世代に向けた活動も進めてゆく必要があります。大田区内の数々の地域が、それぞれ「価値」をはぐくむ魅力ある場所となるべく、それぞれの地域資源を活かしつつ、創造的に解決してゆく「おおたクリエイティブタウン」に向けた様々な活動を考えていこうと思いますので、ご関心のある皆様は、ぜひ、一緒に活動を進めていただけるよう、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

センター長 野原 卓

クリエイティブの力で価値の最大化を

おおたクリエイティブ タウンセンター

とは？

一般社団法人
おおたクリエイティブタウンセンター

〒146-0093

大田区矢口1-21-6 くりらぼ多摩川内

✉ info@oct-c.com

https://oct-c.com/

おおたクリエイティブタウンセンター

センター長 野原 卓

副センター長 岡村 祐 田中 隆

理事 栗原洋三 川原 晋

広瀬安宏 山本章子

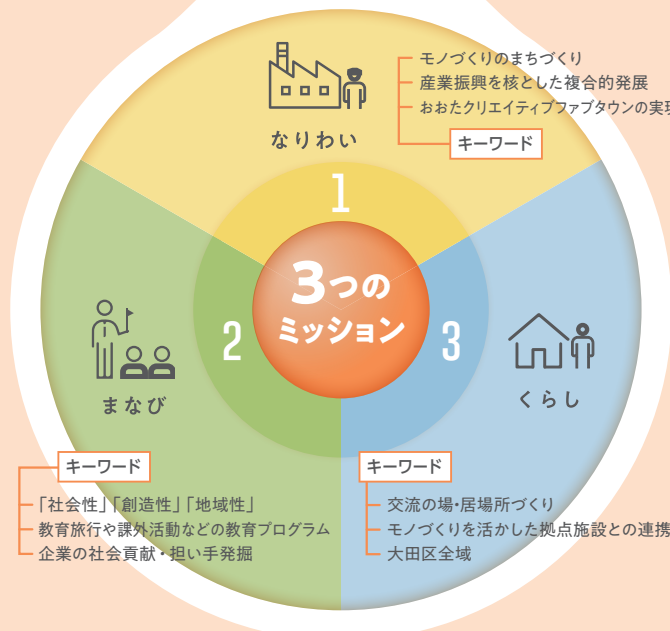
監事 佐山行宏



WEB



INSTAGRAM



3つのミッションを軸とした
クリエイティブタウン育成に向けて、
「公×民×学」連携のプラットフォームを
マネジメントする法人組織です。

PROJECT 2023

様々なプロジェクトに取り組むことができました。

PROJECT 01 おおたオープンファクトリー

#なりわい #まちづくり #観光



実行委員会に(一社)大田工業連合会を新たに迎え13回目を開催。「のぞきに行こう 技術の世界」をテーマとして、学生と協力したオープン工場での展示の提案など、高度な技術や職人の姿を伝えることを意識した取り組みを行った。さらに、(株)グラグリッドおよび武蔵野美術大学の学生と協働し、サービスデザインの視点を活かした工場のブランドブック作成など、OOFの新たな価値向上に資する取り組みを展開した。参加企業56社、参加者3,200名

PROJECT 02 FACTORY×TRIP [ファクトリップ]

#なりわい #まなび #観光



短期プログラムとして、聖光学院中学校高等学校「聖光塾」にて講義+工場見学、都立八王子東高校では教室での講義+モノづくり体験実習(SCRAP)を実施。その他、茂原市からの産業観光視察、阪急交通社モノづくり体験+工場見学ツアーでは関東近郊からの来訪者を受け入れ、工場見学やモノづくり体験を有料プログラムとして価値化。今後は、中学校及び高等学校での探究授業設計・実施に挑戦し、学習成果発表の場として、オープンファクトリーとの連携も検討中。

PROJECT 03 SCRAP

#デザイン #まなび



工場から出る端材を創作活動に生かす循環活動。羽田みらい開発(株)、野村不動産パートナーズ(株)、障がい者総合サポートセンター「さぼーとびあ」などからのワークショップ実施依頼の他、東京都子供の遊び推進プロジェクトとして選定され、プレイパークが原型となる「SCRAP#PARK」を実施。区の独自教科「おおたの未来づくり科」新設に向けてSCRAPを活用した授業設計にも取り組んだ。今後も継続してSCRAP#PARKの日常化、授業設計に挑戦予定。協力企業35社、プログラム参加者850名、素材販売99.884kg

PROJECT 04 くりらぼ多摩川

#くらし #まちづくり #まなび



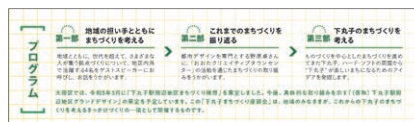
くりらぼメイトによる日替わり運営「オープンらぼ」を継続実施。モノづくり文化の裾野を広げると同時に、多世代交流、子どもたちの居場所機能を併せ持つチャレンジスペースとなっている。町工房BARは野村不動産パートナーズさまからの依頼により、テクノWING(工場アパート)、innoba大田の入居企業の交流会として実施。今後は、産業観光の拠点化、多世代交流や居場所づくりのための場づくり、まちづくりを考える人たちが集まる場づくりなどを進めてゆく予定。オープンらぼ日数201日、来訪者3,994名

PROJECT 05 下丸子まちづくり支援

#くらし #まちづくり

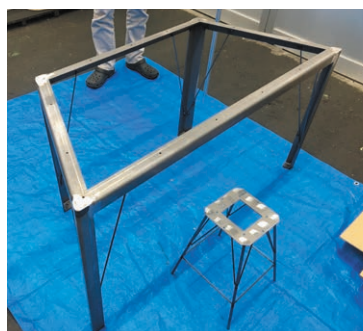


大田区が実施している下丸子駅周辺地区まちづくり構想の策定支援を実施した。今後、グランドデザイン策定に向けたまちづくり検討会に向けての支援を進めてゆく予定。これとあわせて、「おおたクリエイティブタウン構想」を、実際のまちで具体的に推進してゆくための取り組み・活動も実施してゆく予定。



PROJECT 06 モノづくりマッチング

#なりわい #デザイン



大田の技術を活かした製品づくりの窓口機能。横浜国立大学地域実践教育研究センターより、羽沢サテライトキャンパス・交流スペースで使用するツール・大機の製作相談があり、区内企業とのマッチングを行った。



PROJECT 07 おおたクリエイティブタウン研究 ～理論と実践～

#くらし #まちづくり #なりわい

大田区のモノづくり・工場とまちづくりとの関係に関する研究を継続的に行っている。2022年度に取り組んだ町工場の外観特性に関する調査や、全国のオープンファクトリー実施地域に関する調査の成果として、日本建築学会大会学術講演会(京都大学、2023年9月)にて、2編の論文を発表した。

論文

- 神谷圭祐・岡村祐・野原卓・小嶋海輝(2023):「工場一斉公開プログラム「オープンファクトリー」開催地における行政計画への反映状況に関する一考察」
- 小泉勇真・羽佐菜・三吉康太・安井健悟・山岸匠・神谷圭祐・野原卓・岡村祐(2023):「中小工場集積地域における工場建築の外観特性に関する分析 大田区下丸子地域を対象として」

PROJECT 08 ホームページ リニューアル

#ブランディング



OCTC創設以来初のホームページリニューアルを行った。WEBデザイナーと協働した、デザインコンセプトの策定や、事業のフレームワーク整理、キャッチコピー作成などを通し、初めて訪問する方にもわかりやすく取り組みを伝えられる検討を重ねた。新たにお知らせ投稿にも対応し、OCTCの多様な取り組みを随時情報発信していく。